

移動しやすいみち、使いやすい施設でみたされる街 おおた を目指して



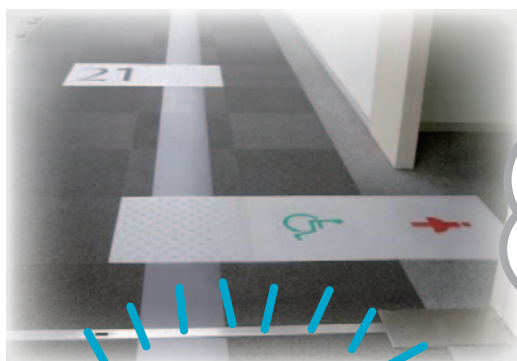
大田区移動等円滑化推進方針

# おおた街なか“すいすい”ビジョン

大田区ではこれまで、住みよい、移動しやすいまちづくりに努めてきましたが、区民が日々感じている「困った!」を、なかなか減らすことができていません。



そこで…移動しやすいみち、使いやすい施設でみたされる街おおたを実現するための推進方針を策定しました!!!



移動しやすい

「困った」を減らしていくんだ!

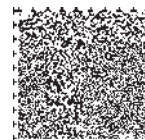


使いやすい



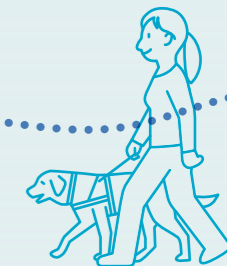
でも…“すいすい”ビジョンってどんな内容なんだろう?

次ページから詳しく!





# “すいすい”推進の考え方をご説明します

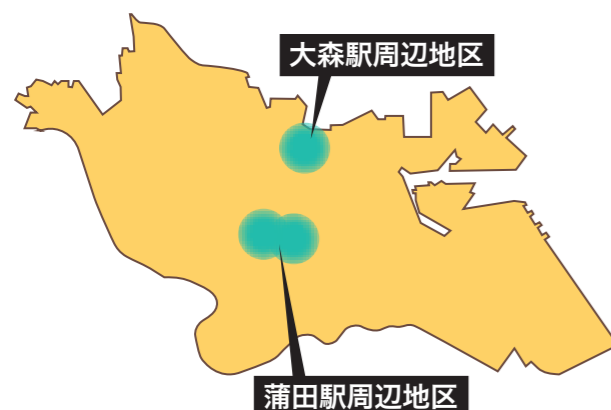


## ① 移動等円滑化事業を着実に進めるために

● 地区を指定し、計画的・重点的に移動等円滑化を進めていきます

その1 バリアフリー新法に基づく「重点整備地区」を指定します！

バリアフリー新法に基づき、蒲田駅・大森駅周辺地区を重点整備地区に設定します。そして、“すいすい”プラン(バリアフリー新法に基づく移動等円滑化基本構想)を作成し、事業を実施します。



※駅を中心に、概ね400ha以下の範囲で地区を設定します。

その2 大田区独自の「点検整備地区」を設定します！

重点整備地区以外も、法律に基づかない区独自の「点検整備地区」を設定し、区全域で“すいすい”を推進します。

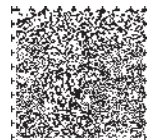


● 計画に位置づけがない事業も、機会を捉えて着実に実施します

重点整備地区や点検整備地区内で、計画に位置づけがない、施設の改修、道路改良工事などを行う際は、“すいすい”の整備を実施していきます。

● 区内でさまざまな取り組みを実施し、充実したユニバーサルデザインの環境を区全域へと広げていきます

重点整備地区や点検整備地区においては、「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」に示した各種取り組み(アクションプラン)を実践し、ユニバーサルデザインの環境を区全域へと広げていきます。



## ② よりよい事業を実施するために

● 利用者の視点に立った整備を図ります

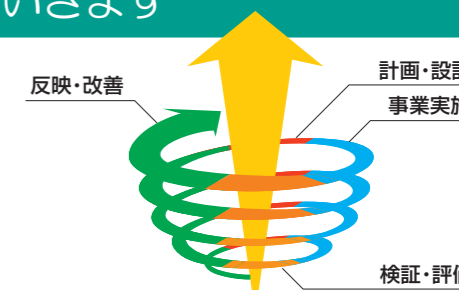
事業を行う際には、「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」で示したまちづくりの考え方を踏まえ、利用者の視点に立った整備を図るとともに、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」を基本とした「ユニバーサルデザイン」の考え方を反映させていきます。



検討会のイメージ

● スパイラルアップにより、継続的に改善していきます

重点整備地区ではプランの目標年次を設定します。重点整備地区や点検整備地区での“すいすい”の進捗状況を管理し、区民の方と一緒に事業成果を確認し、必要に応じて計画の見直しや改善を行います。



スパイラルアップの考え方

## ③ 一人ひとりが、移動等円滑化の環境づくりを支えるために

● 心のバリアフリーなど、区民の協力によるソフトの移動等円滑化を進めます

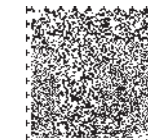
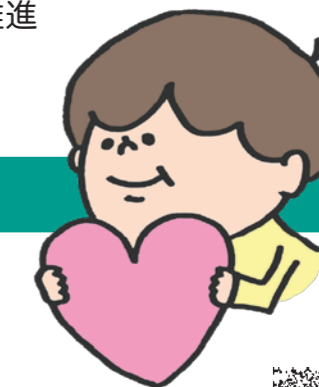


講習会の様子

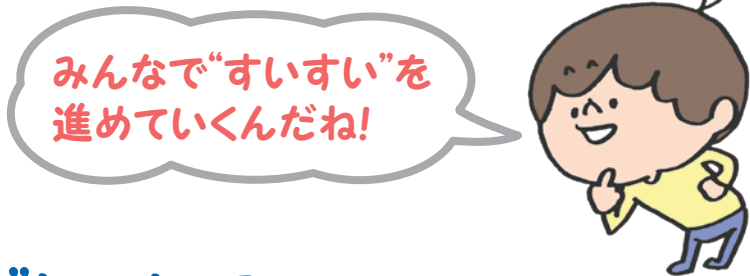
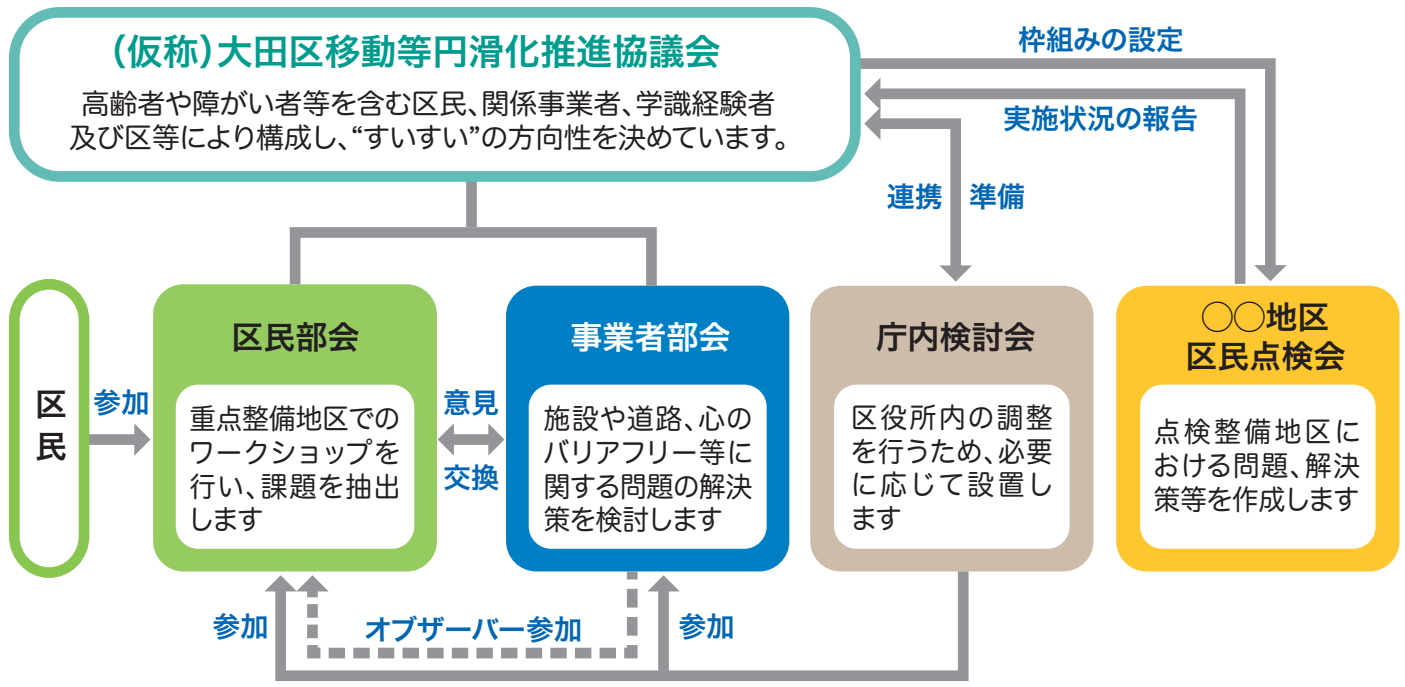
高齢者や障がい者の方などへの理解促進を図るため、学習の機会や啓発活動などを行い、偏見や固定観念などの心の壁(バリア)をなくす、「心のバリアフリー」を推進していきます。

● 事業者等によるソフト的な取り組みを促進します

事業者は、高齢者や障がい者等の接遇等に係る教育訓練の充実や、コミュニケーションツールの導入に努めるものとします。特に「重点整備地区」や「点検整備地区」においては、この取り組みをさらに推進するよう位置づけます。



# 検討組織体制



## これからの“すいすい”について



**Q. 今後のスケジュールはどうなっているの？**

**A.** 現在、蒲田駅周辺地区において、(仮称)かまた街なか“すいすい”プランを策定中です。  
 蒲田駅周辺地区のプランを策定後、大森駅周辺地区のプランも策定していきます。  
 また、重点整備地区に続いて、点検整備地区を順次設定し、大田区全域に“すいすい”を進めていきます。

